

脱炭素社会の実現に向けた取組をはじめとする  
「超スマート社会」の実現を支援します！

# スマート社会実装化促進事業補助金

2050年カーボンニュートラル宣言以降、高まる脱炭素社会の実現に向けた取組をはじめ、ICT等の先端テクノロジーを活用し、あらゆる人が快適に暮らせる「超スマート社会」の実現を目指すために、京都府内の中小企業等が行う新たなサービスや技術の開発等のイノベーションの創出に向けた取組に補助金を交付します。

【募集期間】 令和8年4月20日（月）～令和8年6月19日（金）

## 補助対象者

京都府内に事業所を有する中小企業者、有限責任事業組合、NPO法人、当法人理事長が特に必要があると認める事業者

午後5時必着

上限

500万円

※補助対象経費の2分の1以内（千円未満切捨）

## 対象経費

（詳細は交付要領及び募集要領をご確認ください。）

- ①人件費（総事業費の50%以下） ②謝金・旅費 ③製品開発費  
④委託費（総事業費の50%以下） ⑤諸経費

## 補助対象事業

### （1）分野

- ア **エコ分野**（脱炭素化※1、地球温暖化対策（緩和・適応※2）等）  
イ **エネルギー分野**（再エネ、創エネ、省エネ、制御技術等）  
ウ **ICT分野**（AI、IoT、ビッグデータ等）  
エ **その他「スマート社会」の実現を目指した先端テクノロジー分野**

※1・・・CO2回収・固定手法をはじめとする脱炭素化を促進する技術開発に加え、カーボンプライシングの導入を推進する取組や、製造業における調達指針の脱炭素化を見据えた部材開発・加工技術開発などの周辺産業も含む

※2・・・気候変動により、すでに顕在化している、又は顕在化することが想定される社会・経済への被害を軽減するための方策

### （2）事業種別

- ア **フィージビリティスタディ（FS）タイプ**  
各分野の課題の解決に貢献する事業（市場調査、ビジネスモデルの策定、展示会出展等）  
イ **製品開発事業タイプ**  
基礎的な研究を終了した部品・部材、機器・装置、ソフトウェア等の試作・製品開発事業

## 補助対象期間

（詳細は交付要領及び募集要領をご確認ください。）

令和8年4月1日（水）～令和9年2月26日（金）

（令和8年4月1日（水）から補助金交付決定までの間に事業に着手する場合は、「事前着手届」の提出が必要です。）



## ◆過去の採択事例

(令和5年度は6件、6年度は4件、7年度は3件を採択しました。)

### N K E 株式会社

### 京都精工電機株式会社

#### 「低露点環境における搬送機器等の開発」

##### 課題

自動車やスマホ等で使用される二次電池の製造に際して、湿度があると粗悪な製品となり、爆発など事故の原因となる。

また、半導体を製造する過程でも低露点環境は重要。これまで、低露点環境を実現するパーツはあったが、「-70℃以下の露点」においても安定稼働が可能なコンベアなどの搬送機器はなかった。

##### 解決

露点温度が-70℃以下のグローブボックスを作成、中にゴムや金属など5パターンのコンベアを設置し、24時間体制でモニタリングを実施。

1,600時間以上の連続運転を行い、低露点環境での長期稼働に耐える耐摩耗・耐腐食構造を有することを確認し、製品化の見通しが立った。

##### 今後の展望

更なる改良を加え、リチウム系二次電池や次世代半導体の安全性や信頼性などに寄与する製品として販売予定。

低露点環境での搬送技術を確認し、関連メーカーと協業することにより、エネルギー・材料分野へのさらなる展開を見込む。

#### 「受配電設備向けAI遠隔監視システム開発」

##### 課題

受配電設備の管理現場において、ベテラン社員はデータの変化から異常を予測できるが、人手不足や高齢化が進んでおり、熟練した人材が減少している。

また、工場や病院等の24時間体制の施設では夜勤を置く必要があり、労働負担が大きい。

さらに、手作業で巡視記録を作成しているため、管理レポート作成に時間がかかる。

##### 解決

AI遠隔監視システムを開発し、24時間リアルタイムで、国内外を問わず、PCやスマホ等での確認を可能とした。既存設備への後付けが可能であるため、中央監視設備が不要で、低コストで容易に導入可能。

収集したデータはAIに蓄積され、さらに、利用者がAIチャットでの質問を繰り返すことにより、精度が向上。レポート作成に際しては、目的に応じた内容でAIによる作成が可能となり、労働負担の軽減に寄与。

##### 今後の展望

保安事業者を主な対象として、既存の受電盤設備への後付け、新規受電盤設備への内臓の2通りにより販売予定。

電流や電圧、電力などの異常検知に加え、発注者のニーズに応じてセンサーを追加し、測定対象を広げることも想定。

## ◆皆様をサポートする制度

販路開拓・拡大	京都スマートプロダクト認定事業 チャレンジ・バイ【京都府率先購入、医療・福祉・介護施設等への導入支援】 京都市ベンチャー購買新商品認定制度【京都市率先購入】 京都商談ナビ【ビジネスマッチングサイト】
交流拠点	京都経済センター (KOIN)、西陣産業創造會館、ZET-BASE KYOTO、QUESTION
自社の強み発掘、強みの活用 (認定・規制緩和等)	知恵の経営【自社の強み発掘・再構築、企業の認証】 元気印・経営革新【強みの活用、事業計画の認定】 京都市ベンチャー企業目録委員会【事業プラン認定、販路開拓等伴走支援】 オスカー認定制度【企業認定、販路開拓等伴走支援】 知恵-1 グランプリ認定制度【伴走支援、活動助成金の提供】 国家戦略特区【規制緩和】
映像・デジタル技術の活用	京都クロスメディア推進拠点KCROP【3D、CG、AR/VR、アニメ・漫画キャラとのコラボ等】 高速開発支援センター (北部産業創造センター等4箇所)【CAE等】 丹後・知恵のものづくりパーク【VR等】
開発・実証拠点	けいはんなベンチャーセンター【インキュベートルーム】 けいはんなロボット技術センター【5G基地局(屋内・屋外)、モーションキャプチャ等】 けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)【研究・展示スペース等】 京都市成長産業創造センター (ACT京都)【化学分野の研究開発】 京都バイオ計測センター (京都市産業技術研究所)【バイオ計測機器のオープンラボ】 地域科学技術実証拠点 (京都工芸繊維大学)【電波暗室 (電磁波関連測定)】

## 補助金に関する相談窓口・提出先

(受付：平日の午前9時～正午、午後1時～午後5時)

詳細はこちら！



京都知恵産業創造の森 スマート社会推進部

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階

TEL (075) 353-2303 FAX (075) 353-2304

